

放課後児童クラブについて

問 市中心部の民間施設に設置している放課後児童クラブには、施設が狭隘であるものや公園に移動するにも交通安全上の問題のあるものが多く、早急な改善が必要ではないか。市が借りに上げて貸す方法もあるのではないか。

答 学校内及び近隣に公的施設の確保ができず、民間施設の家賃補助で対応せざるを得ないところも現実にあるため、特に家賃補助の制度を見直し、限度額を引き上げたところである。市が借り上げる方法も含め今後研究していきたい。

水産業・農業の後継者対策

問 漁業、農業従事者数は年々減少しており、長崎市の水産業、農業の現状は危機的状況にあるが、後継者や新たな担い手確保策を伺いたい。

答 漁業後継者対策としては、県の補助事業を活用し、新規就業者の漁業技術習得にかかる研修費や漁船購入経費の支援を行っている。農業後継者対策としては、農業センターによる農業ヘルパー研修や長崎市地産地消振興公社による人材育成事業等を実施している。

自由民主党

高齢者虐待の現状について

問 高齢者への虐待は、本市においても家族が十分に介護しているとはいえない事例や、親のお金を無断で生活費に回すなど、虐待ではないかと思える情報も聞き及んでいる。実態とその対応について伺いたい。

答 身体的、心理的、経済的虐待が多く、同居家族からの虐待が9割近くを占め、虐待を受けた者の8割が女性である。生命の危険性が高い場合は施設への一時保護を行っている。未然防止のための啓発活動や、関係機関とのネットワークによる早期発見、対応により虐待防止に取り組みたい。

歯科保健行政について

問 昨年12月に長崎県歯・口腔の健康づくり推進条例が制定されたが、施行される中で本市の役割、責務があると思う。この条例に基づいた今後の歯科保健行政にかかわる本市の取り組みについて伺いたい。

答 同条例第9条に、市町においても歯・口腔の健康づくり推進計画を定

めるよう努めるとの規定があることから、長崎市歯科保健医療福祉推進協議会において、本市においても歯・口腔の健康づくり推進計画を平成25年度から実施することとし、それまでは長崎地域保健医療計画を市の歯科保健計画と位置付け、目標達成に努め、推進計画の準備を行うことを確認している。

東長崎土地区画整理事業について

問 当該事業における矢上工区については、まだ全体的に土地提供に伴う地権者の不公平感や地積の相違などの問題が残っているが、これに対する市の対応、考え方を伺いたい。

答 基本的に区画整理事業の必要性が薄くなっていくことを地元で説明し、現在見直しを進めている。矢上工区自体は既に区画整理が完成し、換地処分を行っている。清算金などの問題で行政不服審査や裁判で提起されている部分も既に換地処分が済んでいることから、変更は難しいと考



区画整理後の教宗寺付近

明政クラブ

平成21年度の街路事業の業務執行について

問 小ヶ倉茶屋線は、平成21年度の当初予算で提案されたが、積算に見落としがあり、他の路線からの流用や予算の先取りにより、当初予算の約2倍の工事費となったことは、市民感覚からは理解しがたく、なぜこのようなことになったのか伺いたい。

答 昨年の9月頃に予算不足がわかったが、交付金や起債の追加は困難と考え、建物補償や用地買収等の進展が見込めない他の路線の交付金から予算流用を行ったものである。今後は再発防止に向けた取り組みを行い、信頼回復に努めたい。

消防団員への給与品について

問 消防団員に支給されている安全靴は靴紐を結ぶにも時間がかかり、車を運転中に感覚が失われるときがある。足腰にも負担がかかるなど、編み上げ式で非常に不便である。消防職員と同等のものを支給できないか。